猪口邦子通信

Kuniko INOGUCHI, Ph.D.

解決力!
それが
「くにこ」らしさです。

2013.9月号



183回通常国会は150日間で6月末に閉会し、7月には第23回参議院通常選挙（私は非改選期）が行われ、8月初めには短期間の臨時国会も召集されるなど政治日程は多忙でしたが、国連外交の関係者の来訪も多い時期でした。8月5日、V.イェレミッチ第67回国連総会議長（私の左）が来室。セルビア共和国出身で軍縮外交にも関心が深く、核軍縮や小型武器問題、多国間外交について議論しました。議長の左は在京セルビア大使。私の右は国連総会議長の顧問。



D.マローン国連大学学長兼国連事務次長（右）が8月16日来室。大学教授出身の議員として国連大学の改革と支援について議論しました。

3 次期NPT議長ロマン・モレイ大使



8月23日、エンリケ・ロマン・モレイ次期NPT（核兵器不拡散条約）運用検討会議議長が来室。10年前、私がジュネーブで日本の軍縮大使を務めていたころからの友人で専門家仲間ですが、ペルーの国連大使としてこのたび、軍縮不拡散の要であるNPTの議長に全会一致で選出されました。2015年に行われる条約運用検討会議（NPT Review Conference）が成功し、核軍縮が進むよう全力で応援したいものです。

4 ニカラグアの外務大臣と意見交換



6月20日、来日中のニカラグアのサムエル・サントス外務大臣（右）と朝食会で意見交換を行いました（左は在京ニカラグア大使）。小泉内閣の少子化大臣時代に安倍官房長官が戦略的外遊を推進し、日本の閣僚が未だ訪問したことのない国への閣僚派遣を行いました。私は日本の閣僚として始めてニカラグアを訪問し、社会資本整備や日本外交の懸案事項、また子どもの福祉や教育について当地の閣僚等と意見交換を行いました。友好関係にいまも努力を続けています。

5 フィジー共和国大使と意見交換



8月26日、フィジー共和国のイシケリ・マタイトガ特命全権大使が来室し、太平洋島嶼諸国の課題や、2015年10月の国連安保理非常任理事国選挙について意見交換を行いました。一つのアジア枠に日本のほか一カ国が立候補しており、熾烈な競争が予想されます。フィジーは第三世界の連帯運動であるG-77（77カ国グループ）の会長を来年11月まで務めます。来年中には多くの国が投票態度を決定するので、日本の国益に大切な時期の会長国であり、積極的に正式に協力を要請すべきです。弁護士でもあり、EU大使を務めた活発な大使。前任は現在、同国の外務大臣です。

6 ドイツと少子化シンポジウム

6月21日、日本の国際交流基金とドイツのコンラッド・アデナウアー財団共催の少子高齢化社会問題のシンポジウムに参加し、少子化対策や高齢化時代にも経済が低迷しない方策を討議しました。ドイツもかつては少子化が顕著でしたが、冷戦後は平和の配当の一貫として家庭・子ども部門の支援と予算を強化し、回復基調を実現しています。ドイツは政党別の財団外交も活発です。



7 稲嶺惠一前沖縄県知事と会談



6月23日、沖縄全戦没者追悼式に、参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員長として参列しました。政府からは安倍総理と担当大臣、また外交、防衛両大臣が参加し、深い思いを寄せました。私は稲嶺前知事の時代に、国際政治の大学教授として沖縄平和賞創設の設計に理論分野から参加し、知事から感謝状をいただいたこともあります。表敬訪問を申し出たところ、心優しい知事は空港の控え室まで来てくださいました。沖縄はもとより国際政治全般につき意見交換を行いました。

8 菅義偉官房長官に少子化対策提言を手交



私が委員長を務める自民党人口減少社会対策特別委員会は3月に初会合を開いて以来、11回の会合で議論を深め、中間整理を委員長の責任でまとめました。総理官邸に報告することになり、6月21日、菅官房長官が対応し、共感してくださいました。会合は8月初旬にも開催され、9月以降は制度的な詳細設計にもかかわることになります。

9 国際学会で基調講演



7月13日、京都教育大学と英国の大学等の共催で行われた主権者教育（citizenship education）学会にて基調講演を行い、市民の政治参加の拡大や、主権者の主体的問題解決の方向性につき議論しました。日本学術会議でも同様の課題に政治学委員長として取組んでいます。

10 夏祭りの数々



8月、議員はみな夏祭りで交流を広げます。参議院議員として3年目の今夏、多くの祭りに参加することができました。いすみ市では、郷土をけなげに売り込むゆるキャラ「いすみん」にも会い、また船橋では陸上自衛隊習志野駐屯地の祭りに参加し、「精鋭無二」を合言葉とする第一空挺団に敬意を表しました。

第183回国会（常会）のまとめ

第183回国会は、1月28日に召集され、天皇陛下のご臨席を仰ぎ参議院議場にて開会式が行われた。会期は6月26日までの150日間であった。召集日には、7つの特別委員会が設置され、私は沖縄及び北方問題に関する特別委員会の委員長に選出された。委員長としては与野党協議を重視し、順調な運営を心がけた。会期後は自民党の沖縄振興調査会会長に任命され、沖縄振興のための予算と税制改正に努力している。

1月31日には、緊急経済対策の実施経費の追加等を内容とする補正予算が提出された。同補正予算は2月14日に衆議院本会議で可決され、26日に参議院で可決され、成立した。2月28日の衆参両院の本会議で安倍内閣総理大臣の施政方針演説、岸田外務大臣の外交演説、麻生太郎財務大臣の財政演説及び甘利国務大臣の経済演説のいわゆる政府4演説が行われた。

平成25年度総予算は、2月28日に提出された。衆議院では3月6日より予算委員会において同予算の審議が開始されたが、年度内成立が難しい事態となったことを受けて、政府は3月27日、4月1日から5月20日までの必要経費から成る平成25年度暫定予算を提出した。同暫定予算は、衆議院では28日に、参議院では29日に可決され、成立した。25年度総予算は、4月16日に衆議院本会議で可決され、参議院に送付された。参議院でのいわゆるねじれ状態により、本会議で否決され、同日に開かれた両院協議会でも成案を得るに至らず、衆議院の議決が国会の議決となり、成立した。

内閣提出法案は、今国会提出75件のうち、63件が成立した（成立率84%）。参議院議員提出法律案は3件成立した（成立率9%）。衆議院議員提出法律案は7件成立した（成立率は14%）。条約は、今国会提出の18件のうち、9件が両院で承認された（承認率50%）。可決された法律案には、ネット選挙を可能にする公職選挙法改正案、共通番号制度関連4法案、衆議院小選挙区の区割り改正法案等がある。承認された条約には、国際的な子の奪取に関するハーグ条約、脱税防止および二重課税回避のため租税関連の条約や協定、また北太平洋公海の漁業資源の管理に関する条約等がある。

第23回参議院通常選挙（2013年7月21日 投開票）

1. 自民党は改選34議席からほぼ倍増の65議席（女性は9名）を獲得し、単独で改選定数121議席（選挙区選73議席、比例選48議席）の過半数を超えた。非改選議席を合わせると自民公明両党は参院過半数の122議席を確保し、参院で与党が少数のいわゆるねじれが解消された。自民党は選挙区で47議席（内、女性4人）、比例区で18議席（内、女性5名）を獲得。非改選者は50名と合わせ、新勢力は115名（内、女性17名）。公示前は84名。自公で新勢力は135名で、公示前より32名増えた。改選数に占める議席の割合は戦後参議院で8位 53.72%。ただし、得票率は選挙区で42.74%、比例区で34.68%で隔たりがある。

2. 自民党は改選定数1の1人区で29勝2敗（岩手、沖縄）と圧勝し、複数区で擁立した全候補が当選した。現行の選挙制度のもとで最多だった2001年（64議席/小泉元首相）を上回る65議席を確保した。選挙区では2001年を超えたが、比例選では2001年の20議席には及ばなかった。自民党が1998年参院選で惨敗して以来、与党第一党は単独で衆参過半数を得ていない。

3. 公明党は擁立した4選挙区選全てで勝利。比例選と合わせ改選議席を1人超える11人が当選し、2004年参議院選以来、9年ぶりに、二桁当選を果たした。自公両党で非改選議員を合わせ、参院のすべての常任委員会の委員長を占めても、委員の半数を確保できる安定多数（129議席）を超えた。新勢力は20名（内、女性3名）。公示前は19名。

4. 民主党は今回、野党第一党に留まったものの、選挙区では1人区でゼロ。当選者は選挙区で10名（内、女性1名）、比例区で7名（内、女性3名）で、いずれも結党以来、最小議席。新勢力は59名（内、女性9名）で、公示前勢力は86名。

5. 共産党は選挙区で3名（内、女性2名）、比例区で5名（内、女性1名）当選し、新勢力は11名（内、女性4名）で第4党に。公示前勢力は6名。みんなの党は改選議席3議席から8名当選。新勢力は18人（内、女性2人）。公示前勢力は13名。みどりの風は改選議席4名全員落選で政党要件を失った。

6. 比例区での個人名得票が増加した。全国組織型業界団体の票は減少傾向で、非拘束名簿方式が導入された2001年以降、比例区当選者の個人名での平均得票数は減少傾向であったが、2010年の平均20万2千票に対し、今回は23万4千票と増加した。例えば全国建設業協会の推す候補は2010年、14万9千票であったが、今回は21万6千票を獲得した。投票率は52.61%で過去3番目の低さ。沖縄県以外の46都道府県で下落。前回は57.92%。期日前投票は前回より7.15%多い1294万9982人。

猪口邦子（いのぐちくにこ）
Kuniko INOGUCHI, Ph.D.

参議院議員（千葉県選挙区/自民党）
元少子化大臣　元軍縮大使　政治学博士(Ph.D.)
上智大学名誉教授　日本学術会議会員



市川市生まれ　市川市立八幡小学校/ 桜蔭中学・高校/ 上智大
1982　米エール大学大学院政治学博士号取得（Ph.D.）
1990 - 06　上智大学教授（国際政治学）
2002 - 04　軍縮大使（ジュネーブ）
2003　国連第1回小型武器中間会合議長
2005 - 09　衆議院議員
2005 - 06　第3次小泉改造内閣にて少子化大臣
2010　日本大学教授（国際政治学）
2010 -　参議院議員



父方の祖母、故 横田葉子は大多喜町の出身。養老渓谷など郷土愛を詠んだ女流歌人。西小学校正門に歌碑がある。

受賞歴
文部大臣賞（NHK青年の主張）
吉野作造賞（蒼書『戦争と平和』東大出版会）
エイボン女性大賞（小型武器軍縮の国連議長）

著作



くにこism
西村書店



戦争と平和
東京大学出版会
（吉野作造賞）



ポスト覇権システムと日本の選択
筑摩書房



戦略的平和思考
NTT出版

国会事務所　〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1105号室　Tel：03-6550-1105　Fax：03-6551-1105
千葉事務所　〒260-0027 千葉県千葉市中央区新田町4-25パル・サンライト703号室　Tel：043-238-9253　Fax：043-238-6925
http://www.kunikoinoguchi.jp　inoguchi@kunikoinoguchi.jp　ツイッターID：kunikoinoguchi

討議資料